



## 山陰海岸ジオパークトレイル全線開通 1 周年

山陰海岸ジオパークトレイル（鳥取市青谷町青谷駅～京丹後市経ヶ岬間）が全線開通し、この2月で1周年となりました。トレイルとは、歩く道のこと、全国でロングトレイルが整備されています。このトレイルは、みちのく潮風トレイル（約1,025km）、広島湾岸トレイル（約292km）に続き、日本で3番目に長い約230kmのトレイルで、コンセプトは「海わたり、街つなぐ」です（写真1）。今回は、山陰海岸ジオパークトレイルの経緯や特徴について紹介します。



写真1: 山陰海岸ジオパーク推進協議会HPより

### 山陰海岸ジオパークトレイル整備の経緯

山陰海岸ジオパークトレイルの構想は、平成26年から本格的に始まりました。きっかけは、平成25年に鳥取県で初めて小学館のアウトドア雑誌B E - P A Lのキャンペーンを開催したことです。このときは、キャンプの他に様々な体験メニューを実施しました。そのメニューの一つに、<sup>くがみ</sup>陸上（岩美町）から羽尾岬の自然歩道を歩くトレッキング体験がありました。講師は、全国のアウトドアイベントや雑誌等で活躍されている<sup>はせばまさかず</sup>長谷部雅一氏です。イベントの前日に、長谷部さんとコースの下見をしながら、「このトレイルは、今まで歩いたトレイルの中でも5本の指に入るすばらしいコースだ。」というお話を伺いました（写真2）。海岸線の砂浜は裸足でも歩くことができ、山道もある変化に富んだコースは貴重だとのこと。歩きながら、「丹後半島までつながると200kmにおよぶロングトレイルになりますね。」と、構想を膨らませながら話されていたことを思い出します。



写真2: イベント前日の下見の様子(西脇海岸)

このようなことがきっかけで、イベントの翌年に、山陰海岸ジオパークの新たな楽しみ方として「歩く旅」を考え、トレイルルートの調査検討が鳥取県で始まりました。まず、第7回ロングトレイルフォーラムが大分県の<sup>くにさきはんと</sup>国東半島で開催されるということで、視察に行きました。実際に国東半島<sup>みねみち</sup>峯道ロングトレイルの一部を歩き、未舗装の山道だけでなく、里山の舗装道路などもトレイルとして活用されているのを見て（写真3）、浦富海岸の自然歩道と鳥取砂丘をつなぐルートは、十分にトレイルとして紹介できるのではないかと思いました。県内のトレイル候補地の調査は、専門家をお願いしていましたが、やはり浦富海岸と鳥取砂丘は他のトレイルにない魅力的なトレイルという点で、意見が一致しました。その後、長野県の<sup>あんどうももふく</sup>安藤百福センタートレイルや<sup>しんえつ</sup>信越トレイルの視察を行い、トレイル関係者の方々からいろいろなお意見をいただきました。そして、東浜駅（岩美町）から浦富海岸と鳥取砂丘をつなぎ、さらに<sup>まにじ きゅうしょうざん</sup>摩尼寺から久松山（鳥取市）をつないで、鳥取駅へと続くルートができました。（裏へ）



写真3: コンクリート舗装の道を歩くハイカーたち(国東半島峯道ロングトレイル)

## 山陰海岸ジオパークトレイルの特徴

山陰海岸ジオパークトレイルには、どんな特徴があるのでしょうか。全国のロングトレイルの多くは山道を歩くトレイルです（図1）。海岸線を歩くトレイルは少なく、「みちのく<sup>しおかぜ</sup>潮風トレイル」と「山陰海岸ジオパークトレイル」が主な海岸トレイルです。そして、砂丘を歩くことができるのは、山陰海岸ジオパークトレイルだけです。これが一番の特徴です。また、人々の暮らしの中で利用されてきた道が多く、日本海側の漁村や農村の生活に触れることができるルートであることも特徴だと思います。変化に富んだ、多様性のあるルートであると言えます。その他に、鉄道が近く、駅を利用した旅ができることや、シーカヤックなどを利用して、海のルートを旅することも可能です。ルートは27のセクションコースに分けられており、旅のスタイルがいろいろと考えられるのもこのトレイルの特徴です。



図1: 日本のロングトレイル  
※日本ロングトレイル協議会HPの図に加筆

## おすすめのルートはここだ！

定番のルートは、鳥取砂丘と浦富海岸ですが、今回紹介したいのは、漁村を歩くルートです。日本海側の海の暮らしを感じられ、地元の方との会話も楽しめると思います。特に田後<sup>たじり</sup>（岩美町<sup>みお</sup>）、三尾（新温泉町）、鎧<sup>よろい</sup>（香美町）の集落は、漁村の雰囲気を楽しめます（図2）。



図2: 山陰海岸ジオパークトレイルの全コース(海岸線に沿ってルートが延びる)  
※山陰海岸ジオパーク推進協議会HPの図に加筆

また、メインルートの他にサブルートがいくつかありますが、これらのサブルートもおすすめです。本来は、メインルートに設定しなかった場所ですが、行き止まりでルート設定ができない場所や、悪天候のときは通行が危険な場所等がサブルートとなっています。長尾鼻<sup>ながおはな</sup>（鳥取市）や、猫崎半島<sup>ねこさき</sup>（豊岡市）、経ヶ岬<sup>きょうがみさき</sup>（京丹後市）など、絶景とスリルを楽しめるコースです（図2、写真4）。その他にも、鳴き砂



写真4: サブルートの景観 (左)長尾鼻の溶岩、(右)経ヶ岬の柱状節理  
※山陰海岸ジオパーク推進協議会HPより

で有名な琴引浜<sup>ことひきはま</sup>（京丹後市）など、歩いて楽しいコースはたくさんあります。ぜひ、実際に歩いてお気に入りのコースを見つけてください。また、歩く際には、無理のない計画と安全装備の準備をお願いします。（安藤）

### <主な参考資料>

- ・「山陰海岸ジオパークトレイルガイド（パンフレット）」2020年、山陰海岸ジオパーク推進協議会
- ・山陰海岸ジオパーク推進協議会ホームページ (<https://sanin-geo.jp>)
- ・日本ロングトレイル協会ホームページ (<https://longtrail.jp/>)

### <<イベント情報>>

※詳細は当館ホームページをごらんください→



- ★ 3月 6日（土）18:30-20:30「冬の星座を見よう！」（申込：不要）
- ★ 3月 7日（日）13:30-16:00「今日から学ぶ高校地学」（申込：2/21～ 電話のみ9:00-17:00）  
第一部：講演「地球電磁気学から鳥取を探る」、第二部：体験講座「火山灰からキラキラ鉱物を取り出そう」
- ★ 3月13日（土）10:00-16:00「顕微鏡でのぞく石の世界」（申込：不要）
- ★ 3月14日（日）19:00-12:00「打ち上げ貝を調べよう！」（申込：2/28～ 電話のみ9:00-17:00）